

07

きのうかいふく 機能回復をサポート リハビリセラピスト

おしえて！リハビリセラピストのおしごと

医療機関などで患者さんのリハビリにかかわるセラピストのことを「リハビリセラピスト」と呼ぶことがあります。医療業界でセラピストという場合、以下の3つの職種を指すのが一般的です。

理学療法士 (PT: Physical Therapy)

身体の機能に障害を生じた際に、早期から可動域訓練や筋力増強訓練などを行います。また獲得された機能を利用し、起立、歩行訓練など基本動作の獲得を目指し積極的にリハビリを進めていきます。



作業療法士 (OT: Occupational Therapy)

身体機能や高次脳機能、日常生活動作の障害が生じた患者さんに、作業活動などを用いて治療を行います。骨折や麻痺が生じた手の機能回復、食事や排泄など日常生活動作のリハビリで、生活復帰を目指します。



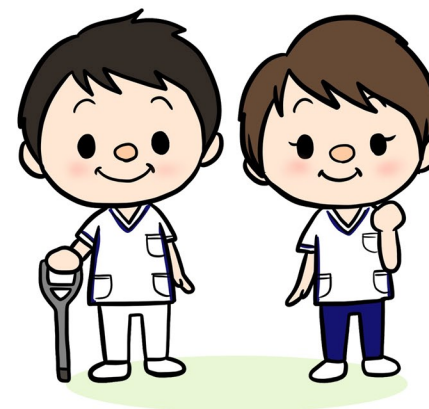
言語聴覚士 (ST: Speech-Language-Hearing Therapy)

病気や生まれつきの障害などによって、ことばや聞こえなどのコミュニケーション機能、食べること飲み込むことに問題がある方に対し、検査、評価し訓練や助言、援助を行います。機能の獲得や改善をはかり、障害のある方のより良い生活をサポートします。



どうすればリハビリセラピストになれるの？

高校卒業後に、養成課程がある大学、短大専門学校で3年以上学んで国家試験に合格する必要があります。言語聴覚士の場合は、上記のほか、一般の大学を卒業後、指定の養成所で2年以上学んだ後に、国家試験に合格することが必要です。



豆知識

当院では、急性期の状態から早期にリハビリを開始することで、筋力の低下、起立、歩行能力、認知、言語、摂食嚥下（せつしょくえんげ）障害などさまざまな機能が回復するように取り組んでいます。手術後の患者さんには、手術の翌日よりリハビリを実施し、疾患によっては毎日リハビリが開始されています。